

〒650-0024

神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎

TEL:078-331-5924 Email:hyogo28_hsatt_kinki@maff.go.jp



令和6年度「日本農業遺産」の認定を行う地域の決定！ ～「兵庫県北播磨・六甲山北部地域」、「兵庫県朝来地域」～

日本農業遺産とは、我が国において特徴的かつ伝統的な農林水産業を営む地域を認定する制度です。農林水産省は、日本農業遺産の認定を行う地域を決定し、兵庫県内では「**兵庫県北播磨・六甲山北部地域**」、「**兵庫県朝来地域**」を新たに認定しました。



兵庫県北播磨・六甲山北部地域



兵庫県朝来地域

詳しくは



「ジビエ料理コンテスト」受賞者の決定！

農林水産大臣賞に 安澤 朋晴 様（株式会社LAZO BODEGAd'avis）

農林水産省では、ジビエの普及啓発等に取り組む「鳥獣利活用推進支援事業」の一環として、「第9回ジビエ料理コンテスト」を開催しました。

一般部門で農林水産大臣賞に、「安澤 朋晴 様（株式会社LAZO BODEGAd'avis）」（兵庫県）が決定しましたので、お知らせします。



◀ **DON!ジビエの火山**
～山の恵みの洋風丼～

詳しくは▶



「食と農をつなぐ朝ごはんコンテスト 2024」受賞者の決定！

PROJECT TOYO（東洋大学附属姫路高等学校）、さつまいも（甲南女子大学）

近畿農政局及び大阪ガスネットワーク株式会社は、「食と農をつなぐ朝ごはんコンテスト 2024」を開催しました。

兵庫県内からは、おむすび賞にチーム名「PROJECT TOYO(東洋大学附属姫路高等学校)」、銅賞にチーム名「さつまいも(甲南女子大学)」が受賞しました。

レシピなど詳しくは▶



PROJECT TOYO

東洋大学附属姫路高等学校



カラフルで元気がでる朝食

ひと手間加え美味しさアップ、見ただけで食欲が湧く、カラフルな朝ご飯。食材を新鮮で美味しい地元食材にこだわり、米は私たちが休耕田をお借りして有機肥料農薬不使用で栽培、穴栗のサーモン・ぴりはりまの山椒・月あかり豚肉は、西播磨地域のものを使用。

さつまいも

甲南女子大学



さつまいもいっぱい！！

野菜が摂れる朝ご飯

おにぎりは、さつまいもの甘さと黒枝豆の塩味など素材の味を楽しめ、豚汁は栄養満点、酒粕による美肌効果も期待。栄養バランスが取れ、食材を無駄なく調理し、忙しい朝にも作ることができると思います。



～第三者継承 世代を超え地域の農業を次世代に～ 「農事組合法人丹新つなぐ」 丹波市氷上町上新庄地域

先代経営者の足立正典さんと経営のバトンを受け取った「丹新つなぐ」代表の本庄直樹さんのお二人にお話を聞きました。

- 将来の農業への想い -

代表の本庄さんは、地域の農業の担い手不足に懸念を抱き、2019年に気の合う幼なじみの仲間と任意の団体「Kクラブ」を結成し、にんにく栽培から農業への第一歩を踏みだしました。

先代の足立さんは、実家の花き農業を引き継ぎ就農。その後、大規模化を進め、水稻や小豆を栽培する地域の中心的大規模農家として活躍していましたが、自身や従業員の高齢化が進むことで将来に不安を感じるようになっていました。



代表 本庄直樹さん

- 第三者継承のきっかけ -

将来の地域農業を懸念していた本庄さんたちが、中心的存在である足立さんに「今後の地域農業のあり方」について相談したことがきっかけで第三者継承に向けての話が進みました。

相談を受けた足立さんは、地域の農業を次世代に繋ぎたいと思っていたことや懸命に農業に取り組む「Kクラブ」の姿に農業を託す希望を見出していました。足立さんの思いを聞いた本庄さんたちは、農業に打ち込むことを決意し、任意団体から2021年に「農事組合法人丹新つなぐ」を結成し、足立さんの農業を受け継ぎました。



譲り受けた農業用倉庫兼事務所

- 第三者継承について -

足立さんは「丹新つなぐのメンバーたちは子供のころから知っており、親族にも後継者はいないので農業を引き継ぐことができて良かった」、本庄さんは「足立さんから栽培技術と農業機械や施設を譲ってもらえることに魅力を感じた」とお互いにWINWINの関係であることを話してくれました。

一方で課題もあったそうで、親族継承と第三者継承では、課税される税金の種類や費用が大きく異なり、足立さんは専門家と相談しながらなるべく引き継ぐ側の負担にならない方法を模索したそうです。

- 丹新つなぐについて -

法人名の由来は、丹波の「丹」、メンバーが生まれ育った上新庄の「新」と地名から文字を組み合わせ「丹新」、「つなぐ」は生産者と消費者を、そして、次世代に農業を、との想いが込められています。現在、足立さんを含めた15人のメンバーで、丹波大納言小豆、コシヒカリ、山田錦などを栽培しています。

栽培面積は15haで、今年で結成4年目となりますが、受託面積は約20haとなっており、地域の担い手として益々の活躍が期待されています。

- 今後の展望 -

引き続き、地域の担い手として農業経営を行うとともに、農業を次世代へつなぐため、将来的に地域で農地の大区画化や利便性の高い農道の整備を行い、効率よく農作業が行えるようにしたいと考えています。

また、近年は夏場の高温により、水稻や小豆の生育や品質に悪影響が出てきており、当面は高温対策に取り組めます。



農事組合法人丹新つなぐ メンバー

第三者継承とは現経営者の親族ではない者に事業を継承すること。農業の場合、農地、施設などの有形資産、技術などの無形資産を継承すること。

Instagram→
リアルタイム農業を発信



水稲の高温対策栽培体系への転換に向けたオンラインセミナーを開催しました



近畿農政局兵庫県拠点では、令和7年1月31日(金)、水稲の高温対策栽培体系への転換に向けたオンラインセミナーを開催し、農業者をはじめ、生産者団体、企業、自治体など、約180名が参加しました。

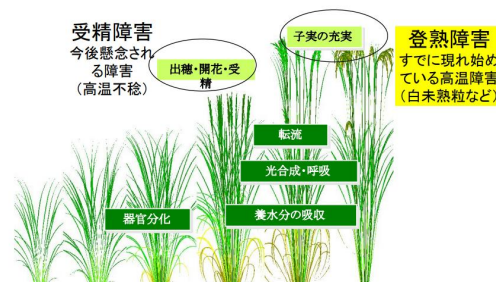
近年は、記録的な猛暑による水稲の品質低下や収量減少などが課題となっており、本セミナーは、高温環境に適応した栽培体系への転換技術や栽培方法等を紹介し、農業者の方が技術を取り入れて安定した農業経営に繋げていただけるよう開催したものです。

当日は、国の研究機関である農研機構から、「高温障害発生とその対応策」について説明されたのち、兵庫県の研究機関である農業技術センターから、「高温耐性の新品種開発」について、JAあわじ島から、その新品種の現地栽培実証試験「ひょうご相思相米プロジェクト」について、ご講演をいただきました。

また、酒米の産地である兵庫県の課題として、兵庫県の酒米試験地から「酒米『山田錦』の高温対策」についてもご紹介がありました。

県内のみならず他府県からも多くの視聴参加があり、講演後には「高温不稔の事例は国内であるのか」「新品種の除草剤成分に対する反応は」など、多くの質問やご意見をいただき、生産現場での関心や課題認識の高さがうかがえました。

異常高温の水稲への影響



当日資料より

※当日の資料は、兵庫県拠点のHPに掲載しています



環境保全に配慮した農業に取り組む農家さんのご紹介

ただまき農園 市原 真貴子さん

— 農薬・化学肥料不使用で行う循環型農業 —

取組の紹介

市原さんは1999年にたつの市で就農し、農薬・化学肥料不使用で循環型農業に取り組んでおられます。平飼い養鶏で発生した鶏糞を肥料として利用し、合鴨農法、米ぬか除草による米作りを行い、くず米や米ぬかを鶏の飼料として活用しています。

大学在学時、合鴨農法を行っている農家のもとで農業の手伝いをした際、田んぼの中で合鴨を頂点とした食物連鎖が生まれ、生態系をつくる合鴨農法に感動し、自分もやってみたいと思い就農しました。

合鴨農法、米ぬか除草により栽培したお米と平飼い養鶏の卵などは全て直接販売を行っており、HP、ECサイト、ふるさと納税などで取り扱っています。



人とのつながりを大事に農地を守り、田畑や生き物たちを次世代につなぐため、自然と共存できる農業に取り組んでおり、SNSでの発信もしています。



簡単な経営概況

- 水稲1.7ha
- 養鶏400羽

援農・農作業体験も随時募集していますので、是非参加されてみてはいかがでしょうか？



ホームページ



Instagram

～地域の話～

RAKU

多可町に賑わいを取り戻せ！ ～株式会社多可町地域商社RAKU～



地域商社RAKUが管理運営しているエアレーベン八千代

画像提供：株式会社多可町地域商社RAKU

定住促進事業

空き家バンクの管理業務を町から受託して移住相談会などを開催しているほか、産学官連携事業で空き家の利活用としてKaji家を開設し、宿泊施設・飲食店・チャレンジショップの運営を行っています。宿泊施設の少ない町内で地域の滞在拠点として観光に訪れやすい基盤を整備。Kaji家は移住希望者の空き家利活用のモデルともなっています。



農業ツアーの様子

他にも、農業ツアーや農業インターンを実施し、多可町の農業の魅力を伝えることにより地域への移住・就農希望者に繋げています。

これらの取組みが評価され「令和6年度近畿ディスカバー農山漁村の宝」に選定されました。



上昇性 RAISING
可用性 AVAILABILITY
親切心 KINDNESS
実用性 USEFUL

ぜひ一度、多可町に訪れてみてはいかがでしょうか。



近畿農政局選定

特産品事業

町から受託したふるさと納税事業は、取材に基づく魅力的な商品の紹介ページと受発注発送システムの構築で寄付金額の大幅な増額を実現。県内外のマルシェに出展し、地域の特産品や魅力をPR。結果として地域に訪れる関係人口の創出にも寄与しています。



様々な特産品が販売されているエアレーベン八千代

所在地：多可郡多可町八千代区中野間363-14(エアレーベン八千代と同住所)

地域商社RAKUが管理運営しているエアレーベン八千代ではご紹介した特産品はもちろん、ご紹介できていない特産品も多数取り揃えておられます。

農作業 2月のワンポイント

シーズン前の安全チェック！

3月から農繁期に突入します。機械事故も急増傾向があります。ほ場での作業が忙しくなる前に、倉庫内の工具類の整理整頓、農業機械の点検整備、農道の路肩や進入路など危険箇所の安全確認など、余裕をもって準備しましょう！



◀詳しくは

海業PRの漁港マスコット キャラクター誕生！



▼詳しくは



地方参事官ホットライン

農政に関するご相談、事業や制度へのご意見・ご質問などがございましたら、お気軽に地方参事官ホットラインまでお問い合わせ下さい。また、広報誌に対するご意見等もお待ちしています。

TEL : 078-331-5924 Email:hyogo28_hsatt_kinki@maff.go.jp